

算数・数学の授業を 一緒にブラッシュアップしませんか？

？ こんなお悩みはありませんか？

- ✓ 「授業スタンダード」や、「『学びの変革』授業デザイン」を、具体的にどう活用すればいいのか悩んでいる
- ✓ 「ふくしま学力調査」の結果を、授業改善にどうつなげるのか話したい
- ✓ 若手からベテランまで、チームとして授業力を高めたい
- ✓ 教材研究の視点を深めたい など



本事業の3つのメリット



継続的な伴走支援

1回きりで終わりではありません。複数回の訪問を通じ、学校の課題にじっくり寄り添います。



オーダーメイドの研修内容

授業参観・事後研究会はもちろん、教材研究の相談やオンラインでの支援も可能です。



チーム全体のレベルアップ

教員一人の支援だけではなく、複数の教員が参加できる研修を支援。校内研修の充実を強力にバックアップします。

福島の子どもたちの未来のために、算数・数学の学力向上を目指して、指導主事等が貴校の授業づくりや校内研修を全力でサポートします！

(支援訪問の具体的な内容は裏面をご覧ください。)



■ 実施概要

訪問期間	令和8年5月11日(月) ～ 令和9年2月26日(金)
対象	市町村立の小学校、中学校、義務教育学校

■ お申し込みの流れ

①申請

市町村教育委員会を通じて指定様式を提出して下さい。

②日程調整

訪問の希望日について、学校と調整させていただきます。

③訪問通知

義務教育課より訪問について回答を差し上げます。

※申込は随時受け付けます！

具体的な支援内容例

(例1) 授業づくりに向けた教材研究等における支援

(例2) 算数・数学の授業参観及び事後研究における支援



事前アンケート

○事前アンケートで先生方が目指す教師像や現在お困りのこと、希望する支援内容等を把握します。

オンラインミーティング

○オンラインの打合せ等を行い、現在の授業の様子や訪問当日の授業の構想等を聞き取り、先生方と相談しながら支援の方向性を決めていきます。



コミュニケーションツールでの継続支援

○訪問までの期間は、チャットやクラスルーム等を活用して、日頃の授業づくりや、教材開発、板書についての助言等、継続的なサポートをします。



学校での訪問支援

○学校を訪問し指導案検討会や、授業参観・校内研修会に参加して、助言等の支援を行います。(訪問後もチャット等で支援を続けていきます。)

事後アンケート

○事後アンケートで、授業力向上や授業観の変容について、先生方が把握できるようにします。

(例3) ふくしま学力調査の結果分析を活用した校内研修等における支援

事前準備

○事前に、各校の結果データについて『学力のレベルと学力の伸び』グラフ化ツール』で出力し、協議に使用する資料の準備をしていただきます。

学校での訪問支援

○指導主事が学校を訪問し、訪問校の結果から読み取れることを解説したり、グループ協議の進行をしたりするなどの支援を行います。

校内研修の例(約1時間の場合)

- 1 開会の言葉
- 2 校長先生から
- 3 研修
 - (1)結果の活用について (指導主事より10分程度)
 - (2)グループ協議
 - ①班ごと(4人程度)で話し合い (30分程度)
 - ②全体での共有 (10分程度)
- 4 まとめ (指導主事より5分程度)
- 5 閉会の言葉

○協議では、学級や児童生徒一人一人の「学力の伸び」に注目し、伸びが見られた学級や児童生徒の姿から指導の特徴(よさ)や、今後の取組について話し合っていました。



令和7年度に訪問支援を受けた先生方の声(事後アンケートより)

児童に学びを委ねることをテーマとして授業づくりに取り組みました。委ねるための教師の支援の在り方や働きかけについて指導主事の先生から学ぶことができました。また単元の計画を一緒に考えることを通して、広い視点から身に付けたい資質・能力を意識した授業づくりが勉強になりました。それらを授業研究の後も意識することができ、自分自身の中で勉強になる一年にすることができました。



小学校教諭



中学校教諭

研究授業の御指導だけでなく、そこに至るまでの日々の授業に関する細やかな御助言(板書の写真送信を通して)によって、客観的に自分の学習指導を振り返ることの大切さに気付くことができました。構造的な板書は、生徒自身の振り返りにつながるだけでなく、自分の授業の振り返りにも役立ち、授業改善にもつながることを改めて実感しました。